

九工大留学中に起業

「ナイスな」研究者 飯塚の林さん表彰

文部科学省・科学技術政策研究所が科学技術の振興に尽くした人に贈る07年の「ナイス・スナップな研究者」に、IT企業「マルテック」（飯塚市幸袋）の林維毅社長（37）が選ばれた。同社は九州工業大情報工学部（同市川津）の留学生らが立ち上げたベンチャー企業。林さんと取締役のアノルド・シボロさん（35）は6日、斉藤守史市長に報告した。



起業について語る林さん（中央）とシボロさん（右）＝飯塚市役所で

音声認識ソフトなど開発

同研究所は05年から、専門家を通じて科学技術分野で顕著な業績を残した人を選んで表彰しており、07年は林さんら全国の13人が選ばれた。林さんはマレーシア出身。92年に来日し、九州工業大大学院在学中の99年、シボロさんら留学生仲間3人とマルテックを創業した。外国人留学生による起業の草分け的存在で、テレビ電話技術を活用した音声認識ソフトなどを開発し、飯塚市のホームページ管理なども請け負っている。年商は約7千万円。現在の社員8人も海外出身者で、いずれも在留延長ができる同市のアジアIT特区制度を利用した。斉藤市長は「今後も活躍を期待したい」などと激励。林さんは「もらえるところは思っておらず、本当にうれしい」と喜び、「飯塚は研究開発に適しているが、顧客の多い大都市から遠いのが難点。ここをクリアしたい」と今後の課題も語った。

中学生がウオーキング大会企画

「金川中学校の2年生が企画」北九州ウオーキング協会「会」で決めている。今月

県職員を名乗る不審電話相次ぐ
中間市で6日、「県職員を名乗る男から電話があり、（国民健康保険の）保険税の過払いを理由に口座番号を尋ねられ

北九州の送水管事故から1カ月 CO充滿現場捜査中断 業者、安全管理へ強い関心

北九州市八幡西区御開3丁目の工業用水道の送水管敷設工事現場で、作



たといった訴えが市民から相次いだ。市は振り込め詐欺などの疑いもあるとして、口座番号などを教えないよう注意を呼びかけている。市によると、電話がかかり始めたのは6日朝から。「県保険課の職員だ

が、保険税の過払いがあるで口座を教えろとほし」といった内容で、不審に思った住民が市や県に問い合わせ、発覚した。市総務課は「県も市も過払いを理由に口座を問い合わせるような電話はしていない」としている。

業員3人が一酸化炭素（CO）中毒で死亡した事故から7日で1カ月。県警は業務上過失致死の疑いがあるとみて関係者から事情を聴いているが、送水管にはまだCOが充滿しており、現場での捜査は中断している。

事故後、県内の建設会社が加盟する団体などは事故防止マニュアルや安全講習についての問い合わせが相次いだという。事故の詳細が知れた「CO中毒事故防止のマニュアルがほしい」。

事故後、県内各地で「CO中毒事故防止のマニュアルがほしい」という問い合わせが相次いだという。事故の詳細が知れた「CO中毒事故防止のマニュアルがほしい」。

交通事故死多発 非常事態を宣言
川崎で決起集会

川崎町内での交通事故死事故多発を受け、交通事故をなくす川崎町民運動本部と川崎交通安全協会は6日、町役場駐車場で決起集会を開き、「交通事故死事故非常事態宣言」を発令した。

集会では、期に比べ8人多いという。交通安全事故撲滅

10時から出発式があり、生徒が和太鼓を披露。同10時半に出発する。途中で豚汁や茶を提供するは

田川署によると、同町

